

日中は汗ばむ陽気ですが、空が少し高くなり、秋の気配が近づいてトンボも見られるようになりました。

「エコみらいひたち」の工事現場を茨城大学の学生が視察に訪れた様子や、第1浸出水調整槽の躯体(くたい)工事の完了などについてお知らせいたします。引き続き、熱中症対策を徹底し、安全、安心を最優先に工事を進めてまいります。



第1 浸出水調整槽の躯体工事が完了

7月末に「第1浸出水調整槽」の天井部分へコンクリートを流し込む作業(コンクリート打設)が終了し、骨格部分となる躯体工事が完了しました。

この調整槽は、最終処分場から集まる廃棄物に触れた雨水(浸出水)を一時的に貯める大きな水槽(容量10,000m³)で、水量や水質の変動を緩和し、安定した処理を行うための重要な設備です。

調整槽に集められた浸出水は、浸出水処理施設で浄化処理し、下水道へ安全に放流します。

今後は、水漏れがないかを確認する試験を行ったうえで、設備工事などを順次進めていく予定です。



＜天井部分のコンクリート打設前＞



＜天井部分のコンクリート打設完了後＞



【お問い合わせについて】

担当: 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話: 0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他: 工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の

ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)

又は二次元コードからご確認いただけます。



茨城大学工学部の学生による現地視察

7月8日に茨城大学工学部の学生(65名)が現地視察に訪れました。

当日は、学生の皆様に現地事務所で工事状況の説明を聞いていただいた後、浸出水処理施設などの現場を見学していただきました。

工学系技術者を志す学生の皆様にとって、新処分場の工事現場の様子や大型重機の稼働状況などを間近で見学できた経験が、建設業界への関心を深める一助となることを願っております。



〈工事状況の説明の様子〉



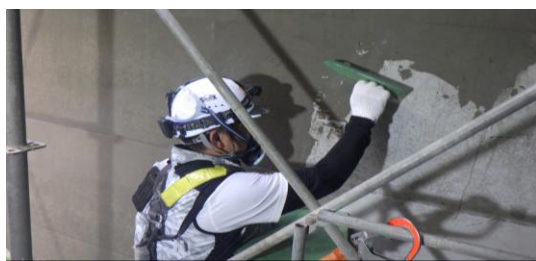
〈現場状況確認の様子〉

浸出水集水ピットの防食塗装工事

浸出水集水ピットは、水を集めて流す管(集排水管)を通じて、埋立地内の廃棄物に触れた雨水(浸出水)を一箇所に集め、その後、調整槽へ送るための施設です。

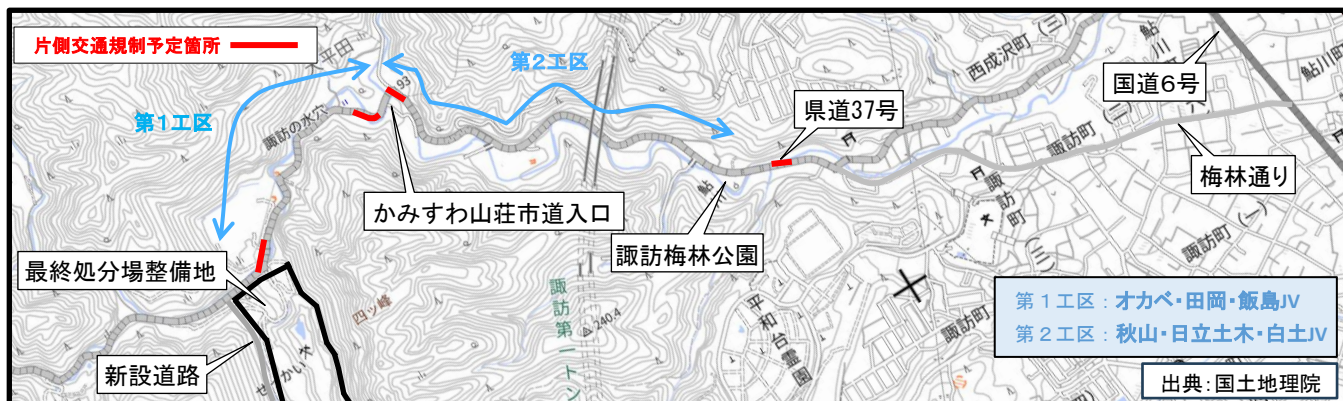
現在は、コンクリート打設が完了し、集水ピット内部の腐食を防ぐための塗装(防食塗装)をしています。

この防食塗装には、コンクリートを腐食や劣化から保護する役割があり、下地塗り、中間塗り、上塗りの3層構造で仕上げます。



〈下地塗り作業の状況〉

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所(9月)



処分場建設工事中の環境モニタリング

● 地下水(6月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

● 動植物(5月確認)

移植措置を実施したトンボ類及び植物が、概ね順調に生育していることを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点